

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通して、12カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・ PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。

ロープ



1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPEに対して生じた特殊な状況を記録する
(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

00	000	AA	0000

製造年
製造日
検査担当
識別番号

コード B:

00	A	0000000	000

製造年
製造月
製造番号
識別番号

耐用年数を超えていないことを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

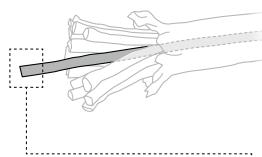
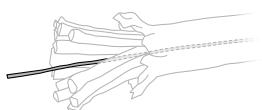
マーキングが判別不能または欠損している場合の製造年の確認方法

ペツル ダイナミックロープの場合:

ロープの芯に識別糸が入っています。識別糸の色によって製造年が判ります。

ペツル セミスタティックロープの場合:

ロープの芯にマーキングテープが入っています。テープにロープの製造年が記載されています。



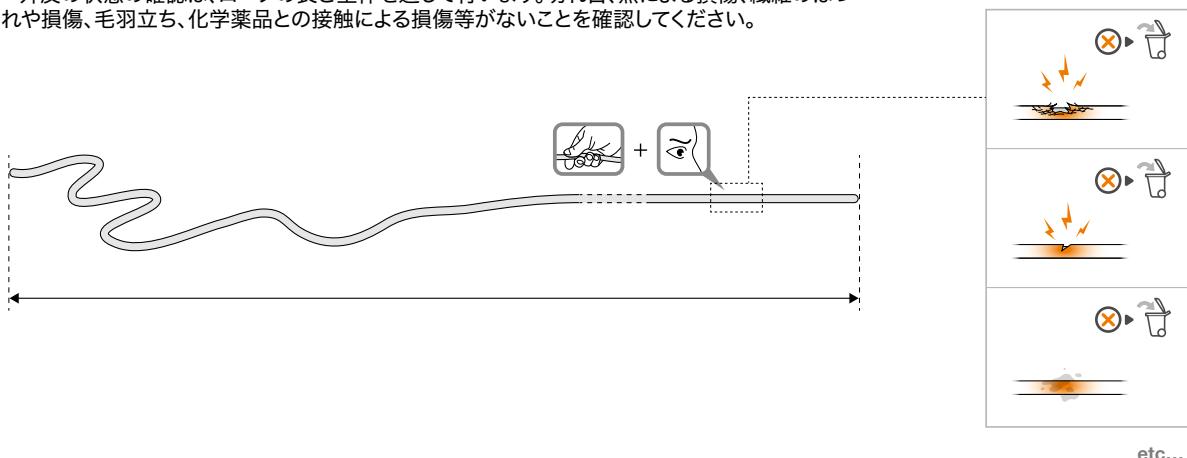
製造年	カラー
0	ブラック
1	ブラウン
2	レッド
3	オレンジ
4	イエロー

製造年	カラー
5	グリーン
6	ブルー
7	バイオレット
8	グレー
9	ピンク

EN 1891 - TYPE A - PES/PA - 2015

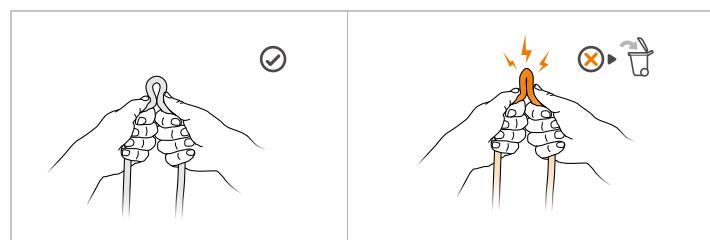
3.外皮の状態の確認

- 外皮の状態の確認は、ロープの長さ全体を通して行います。切れ目、熱による損傷、繊維のはつれや損傷、毛羽立ち、化学薬品との接触による損傷等がないことを確認してください。



4.芯の状態の確認

- ロープ全体を手に通し、芯の状態を点検してください(図参照)。触診することにより、芯にダメージを受けている箇所(かたい、膨張している、柔らかい、潰れている等)を見つけることができます。



5.プラスチックスリーブおよび縫製処理済みの末端の確認

- プラスチックスリーブの状態(摩耗、切れ目等)を確認してください。



- 縫製処理済みの末端および安全に関わる縫製の状態を、ロープの両側について確認してください。繊維系にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。

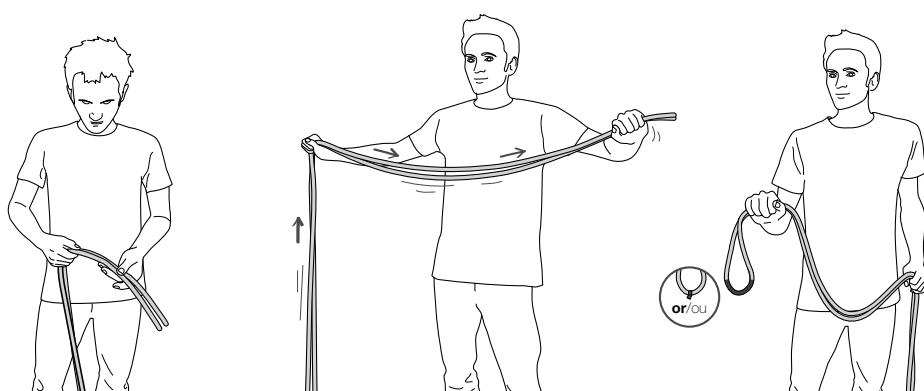


6.ロープの長さおよびミドルマークを確認してください。

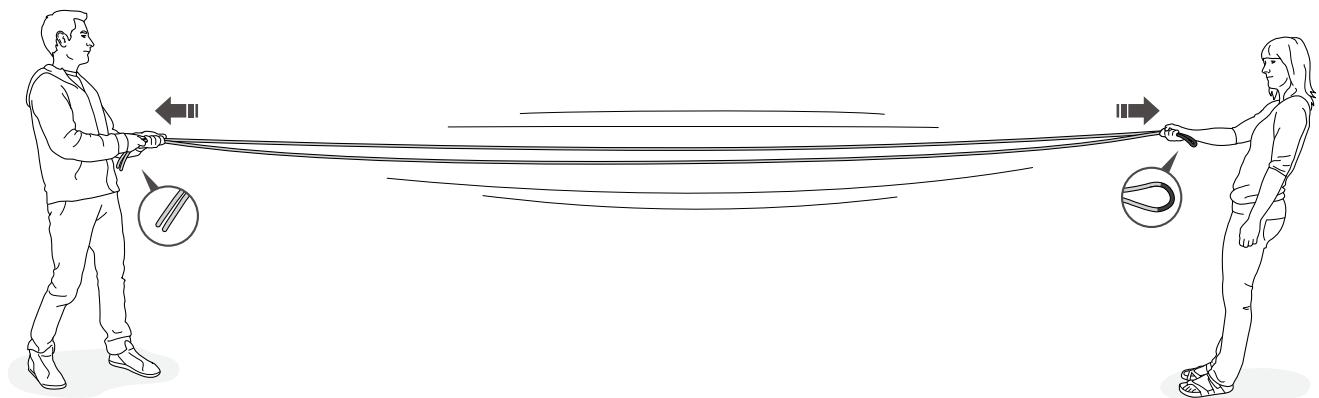
- 以下の手順に従ってロープの長さを確認してください:

- ロープを完全にほどいてください。
- ロープのミドルマークを確認してください。ロープのミドルマークを簡単に見つける方法があります: 2つのロープ末端を一緒に手に持ち、2本のロープを同時に手中で、ロープの中央に届くまでスライドさせます。

ミドルマークがある場合、その位置が正しいことを確認してください。ミドルマークの位置に問題がなければ、次の手順に進んでください。ミドルマークが正しい位置にない、またはミドルマークがない場合、ロープの中間に粘着テープを貼っておくと長さの計測が行い易くなります。

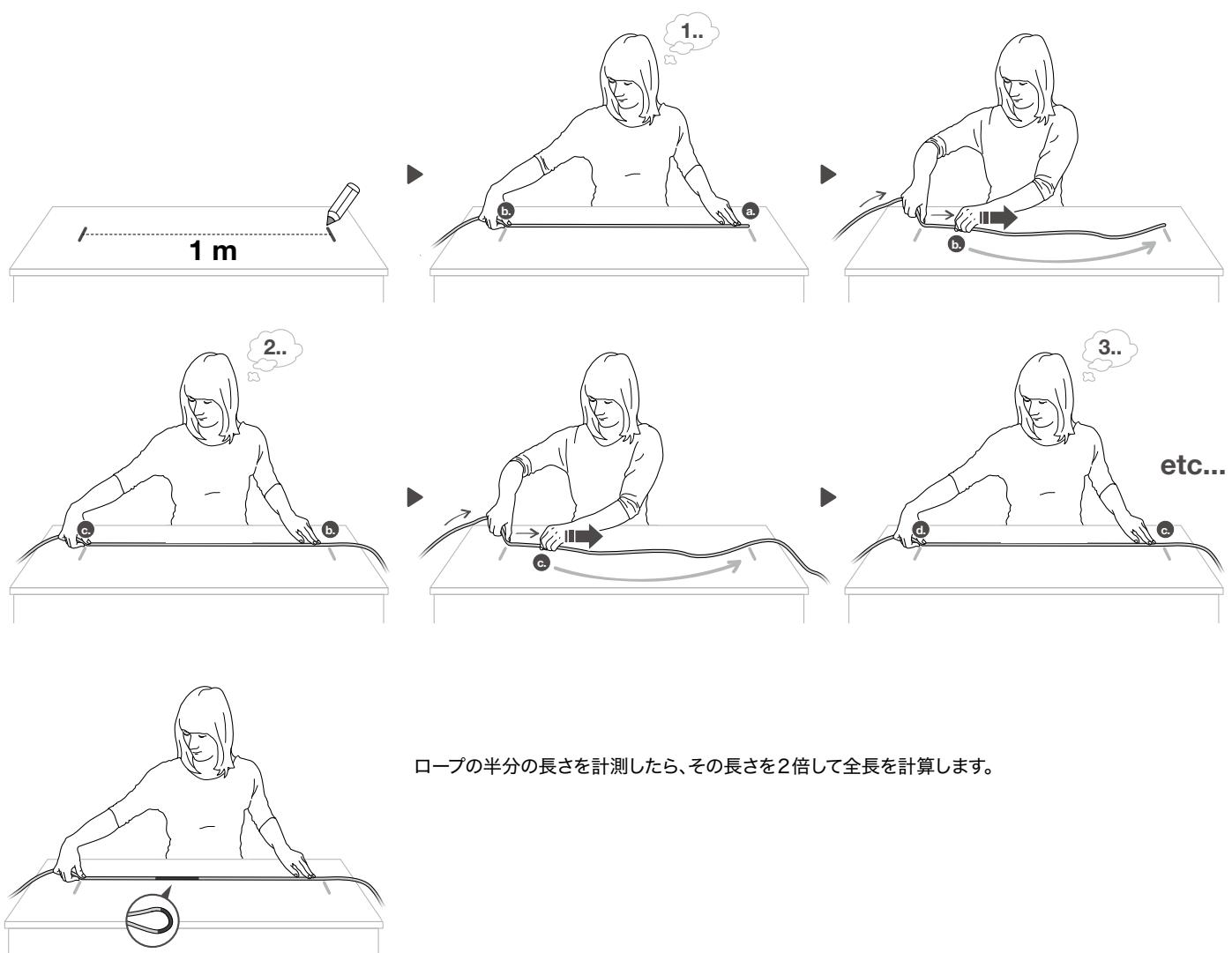


3.ロープを張ってから緩めてください。



4.ロープの長さを計測します。まず、平面(テーブル等)に1mのマーキングをします。

このマーキングを使って、ロープの中間に達するまで1mずつ計測していきます。



補足情報: 点検中に確認すべき一般的な症状の例

・毛羽立ち



・毛羽立ち



・柔らかい箇所



・末端のほつれ



・切れ目



・切れ目



・色褪せ



・塗料の付着痕



・判別不能なマーキング



・判別不能なマーキング



・化学物質と接触した痕跡



・化学物質と接触した痕跡

